

シーバック 【C-PAC16】で原因アレルゲンを探る！

～アレルギーセット検査「C-PAC」が生まれ変わりました～



平成19年8月1日より、従来のアレルギーセット検査「C-PAC12」「C-PAC14」に代わり、**【C-PAC16】**が受託開始となりました。最新のアレルギー研究に基づいてセット検査項目が組まれた**【C-PAC16】**をアレルギー診断の一助としてどうぞご活用ください。

1. セット検査項目が変更された背景は？

2005年から2006年にかけて、日本アレルギー協会による『アレルギー疾患別特異IgE抗体陽性率に係わる全国調査(※)』が発表されました。この全国調査から、小児アレルギー疾患・成人アトピー性皮膚炎・成人気管支喘息のそれぞれについてアレルゲンの抗体陽性率が明確になり、従来の「C-PAC12および14」のセット検査項目を見直す必要性が出てきました。その後、アレルギー専門医による検討が加えられ、新たに**【C-PAC16】**というセット検査が生まれました。

※日本アレルギー協会『アレルギー疾患別特異IgE抗体陽性率に係わる全国調査』

西間三肇他：小児アレルギー疾患におけるアレルゲン感作の全国調査，日小ア誌 20,109-118,2006

池澤善郎他：成人アトピー性皮膚炎における感作アレルゲンの全国調査，アレルギー・免疫 12,1728-1736,2005

足立満他：成人気管支喘息における感作アレルゲンの全国調査，アレルギー・免疫 13,548-554,2006

2. 【C-PAC16】はどのように新しくなったのか？

ポイント1 重要アレルゲンを網羅！

【C-PAC16】は、陽性率が高いアレルゲンのみならず、アナフィラキシーショックを起こしたり、単独でアレルギーを引き起こしたりする重要アレルゲンで構成され、日常診療により役立つ中身になっています。

アナフィラキシーショックを起こしやすいアレルゲン

「卵白」「牛乳」「小麦」「ソバ」
「ピーナッツ」「エビ」「イクラ」等

ポイント2 少量採血でも検査可能！

【C-PAC16】では、4～5cc程度の採血量で16項目すべて測定可能です。小児や採血が難しい患者さまでも、身体的にあまり負担をかけることなくご依頼していただきやすくなりました。

単独でアレルギーを引き起こすアレルゲン

「スギ」「ダニ」「ガ」「ヨモギ」
「アスペルギルス」「カンジダ」等

3.【C-PAC16】の中身(小児用／皮膚炎用／鼻炎・喘息用)は？

表中の番号は、陽性率の高い項目順となっています。

小児用	①ダニ1(ヤケヒョウヒダニ)	②卵白	③イヌのフケ	④スギ
	⑤牛乳	⑥ネコのフケ	⑦ピーナッツ	⑧小麦
	⑨大豆	⑩ゴキブリ	⑪ソバ	⑫イクラ
	⑬エビ	⑭イワシ	⑮サケ	⑯鶏肉
皮膚炎用	①スギ	②ダニ1(ヤケヒョウヒダニ)	③ヒティロスポリウム	④カンジダ
	⑤ガ	⑥イヌのフケ	⑦ネコのフケ	⑧ピーナッツ
	⑨小麦	⑩カモガヤ	⑪カニ	⑫ソバ
	⑬大豆	⑭エビ	⑮サバ	⑯イワシ
鼻炎 喘息用	①ダニ1(ヤケヒョウヒダニ)	②スギ	③ガ	④ネコのフケ
	⑤イヌのフケ	⑥ゴキブリ	⑦ヒノキ	⑧ユスリカ(成虫)
	⑨カンジダ	⑩カモガヤ	⑪ブタクサ	⑫ヨモギ
	⑬アスペルギルス	⑭ハンノキ	⑮アルテルナリア	⑯ハムスター上皮

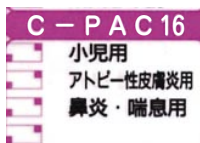
採血量が
少ない場合

依頼書Ⅰの「通信欄」に、優先する検査項目をご記入ください。
ご指示がない場合は、陽性率の高い項目順に検査をさせていただきます
ので、あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。

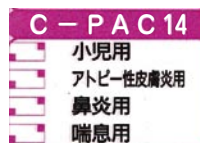
4.【C-PAC16】の依頼方法・容器・採血量・保険点数は？



新
依頼
書



旧
依頼
書



旧依頼書の「C-PAC14」にチェックされると自動的に【C-PAC16】に変更されます。「鼻炎用」「喘息用」のいずれかにチェックされると、C-PAC16「鼻炎・喘息用」のご依頼となります。

容 器： 生化学容器(X)

採 血 量： 4～5cc

保険点数： 1430点

■お問合せ先

【C-PAC16】に関するご質問・ご不明な点等は、下記のところまでお気軽にどうぞ。

学術データインフォメーション課： 0120-14-8734(フリーダイヤル)

082-247-4325(ダイヤルイン)